

平成26年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅱ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章	調査要領	1
1-1	調査時点及び調査対象期間	
1-2	調査対象	
1-3	調査方法	
1-4	回収状況	
第2章	概況	
2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
第3章	各判断項目回答割合	
3-1	業況	6
3-2	完成工事高・生産高・売上高	7
3-3	在庫水準	8
3-4	採算	8
3-5	資金繰り	9
第4章	景況天気図	
4-1	記号説明	10
4-2	全業種D.I.値の状況	10
4-3	業種別D.I.値の状況	11
第5章	産業別経営上の問題点	13
第6章	産業別設備投資の状況	14
第7章	業界の景気動向等その他ご意見	15

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成26年10月1日（水）～平成26年10月20日（月）
(2) 調査期間：平成26年7月～9月期実績、及び、平成26年10月～12月期見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（25件）、製造業（23件）、卸売業（21件）、小売業（32件）、サービス業（33件）の5業種134社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

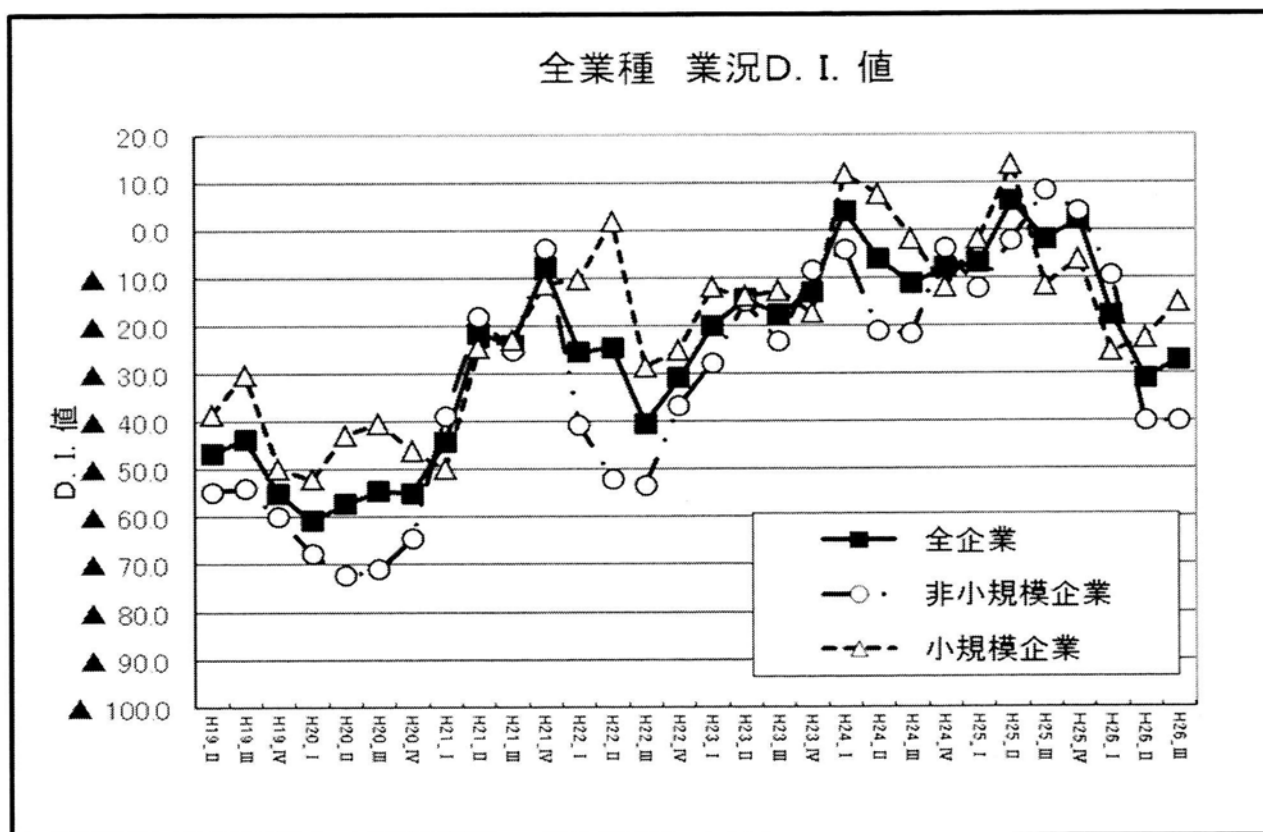
1-4. 回収状況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
建 設 業	25件	20件 (非小規模企業：9件) (小規模企業：11件)	80.0%
製 造 業	23件	13件 (非小規模企業：5件) (小規模企業：8件)	56.5%
卸 売 業	22件	20件 (非小規模企業：10件) (小規模企業：10件)	90.9%
小 売 業	32件	25件 (非小規模企業：11件) (小規模企業：14件)	78.1%
サービス業	33件	25件 (非小規模企業：15件) (小規模企業：10件)	75.8%
合 計	134件	103件	76.9%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業・小売業・サービス業は5人以下）を示す。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成 26 年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の業況は、前年同期比で「好転企業」10.7%、「悪化企業」41.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は▲31.0 と前期に比べ 37.1 ポイント悪化し、平成 22 年第Ⅳ四半期の水準まで大きく落ち込みました。非小規模企業の D.I.値は▲40.0、小規模企業は▲22.6 といずれも大きく悪化しました。

今期は全 5 業種全てで前年同期より悪化し、特に建設業は下げ幅が最も大きく同 61.1 ポイント下落の▲20.0、製造業は同 46.2 ポイント下落の▲23.1、卸売業は同 25.0 ポイント下落の▲20.0、小売業は同 38.8 ポイント下落の▲68.0、サービス業は同 24.3 ポイント下落の▲16.0 といずれも厳しい結果となりました。特に小売業においては、4 月の消費税率の引き上げが影響し、個人消費が大きく落ち込んでいることが数値から伺えます。

今期と比べた次期<10月～12月>の見通しは「好転企業」が 10.7%、「悪化企業」が 37.9%となり D.I.値▲27.2 と今期より 3.8 ポイント改善の見通しを示したものの、全体として厳しい状況に大きな変化はないと予想しています。

製造業は水産加工業を中心に繁忙期にはいるため、唯一業況 D.I.値プラスを予想、それ以外の業種については、建設業、小売業で改善傾向を示したもののマイナスが継続、卸売業、サービス業においては更に悪化すると予想しています。

経営上の問題点としては「諸経費増」「売上の不振」「人材不足」が上位を占めました。建設業では引き続き「人材不足」をあげており、製造業、卸売業、小売業、サービス業においては原材料のコストアップや電気料金等の値上げによる「諸経費増」が課題と位置づける企業が多くを占めました。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	27.3%	36.4%	▲ 9.1	↘
非小規模企業	22.2%	44.4%	▲ 22.2	↘
全体	25.0%	40.0%	▲ 15.0	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	18.2%	▲ 18.2	↘
非小規模企業	0.0%	55.6%	▲ 55.6	↘
全体	0.0%	35.0%	▲ 35.0	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	27.3%	18.2%	9.1	↗
	非小規模企業	0.0%	22.2%	▲ 22.2	↘
	全体	15.0%	20.0%	▲ 5.0	↘
完成工事高	小規模企業	36.4%	18.2%	18.2	↗
	非小規模企業	11.1%	11.1%	0.0	→
	全体	25.0%	15.0%	10.0	↗
資金繰り	小規模企業	0.0%	9.1%	▲ 9.1	↘
	非小規模企業	0.0%	22.2%	▲ 22.2	↘
	全体	0.0%	15.0%	▲ 15.0	↘

(2) 製造業

■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	25.0%	50.0%	▲ 25.0	↘
非小規模企業	20.0%	40.0%	▲ 20.0	↘
全体	23.1%	46.2%	▲ 23.1	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	62.5%	▲ 62.5	↘
非小規模企業	0.0%	40.0%	▲ 40.0	↘
全体	0.0%	53.8%	▲ 53.8	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	25.0%	25.0%	0.0	→
	非小規模企業	20.0%	0.0%	20.0	↗
	全体	23.1%	15.4%	7.7	↗
生産高	小規模企業	25.0%	37.5%	▲ 12.5	↘
	非小規模企業	20.0%	0.0%	20.0	↗
	全体	23.1%	23.1%	0.0	→
資金繰り	小規模企業	0.0%	25.0%	▲ 25.0	↘
	非小規模企業	20.0%	0.0%	20.0	↗
	全体	7.7%	15.4%	▲ 7.7	↘

(3) 卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	30.0%	30.0%	0.0	→
非小規模企業	10.0%	50.0%	▲ 40.0	↘
全体	20.0%	40.0%	▲ 20.0	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	20.0%	▲ 20.0	↘
非小規模企業	10.0%	60.0%	▲ 50.0	↘
全体	5.0%	40.0%	▲ 35.0	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	0.0%	30.0%	▲ 30.0	↘
	非小規模企業	10.0%	50.0%	▲ 40.0	↘
	全体	5.0%	40.0%	▲ 35.0	↘
売上高	小規模企業	0.0%	30.0%	▲ 30.0	↘
	非小規模企業	10.0%	60.0%	▲ 50.0	↘
	全体	5.0%	45.0%	▲ 40.0	↘
資金繰り	小規模企業	0.0%	30.0%	▲ 30.0	↘
	非小規模企業	10.0%	30.0%	▲ 20.0	↘
	全体	5.0%	30.0%	▲ 25.0	↘

(4) 小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	71.4%	▲ 71.4	↘
非小規模企業	9.1%	81.8%	▲ 72.7	↘
全体	4.0%	76.0%	▲ 72.0	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	7.1%	71.4%	▲ 64.3	↘
非小規模企業	9.1%	63.6%	▲ 54.5	↘
全体	8.0%	68.0%	▲ 60.0	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	21.4%	50.0%	▲ 28.6	↘
	非小規模企業	0.0%	63.6%	▲ 63.6	↘
	全体	12.0%	56.0%	▲ 44.0	↘
売上高	小規模企業	21.4%	42.9%	▲ 21.5	↘
	非小規模企業	9.1%	54.5%	▲ 45.4	↘
	全体	16.0%	48.0%	▲ 32.0	↘
資金繰り	小規模企業	7.1%	35.7%	▲ 28.6	↘
	非小規模企業	0.0%	54.5%	▲ 54.5	↘
	全体	4.0%	44.0%	▲ 40.0	↘

(5) サービス業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	10.0%	20.0%	▲ 10.0	↘
非小規模企業	33.3%	26.7%	6.6	↗
全体	24.0%	24.0%	0.0	→

■採 算

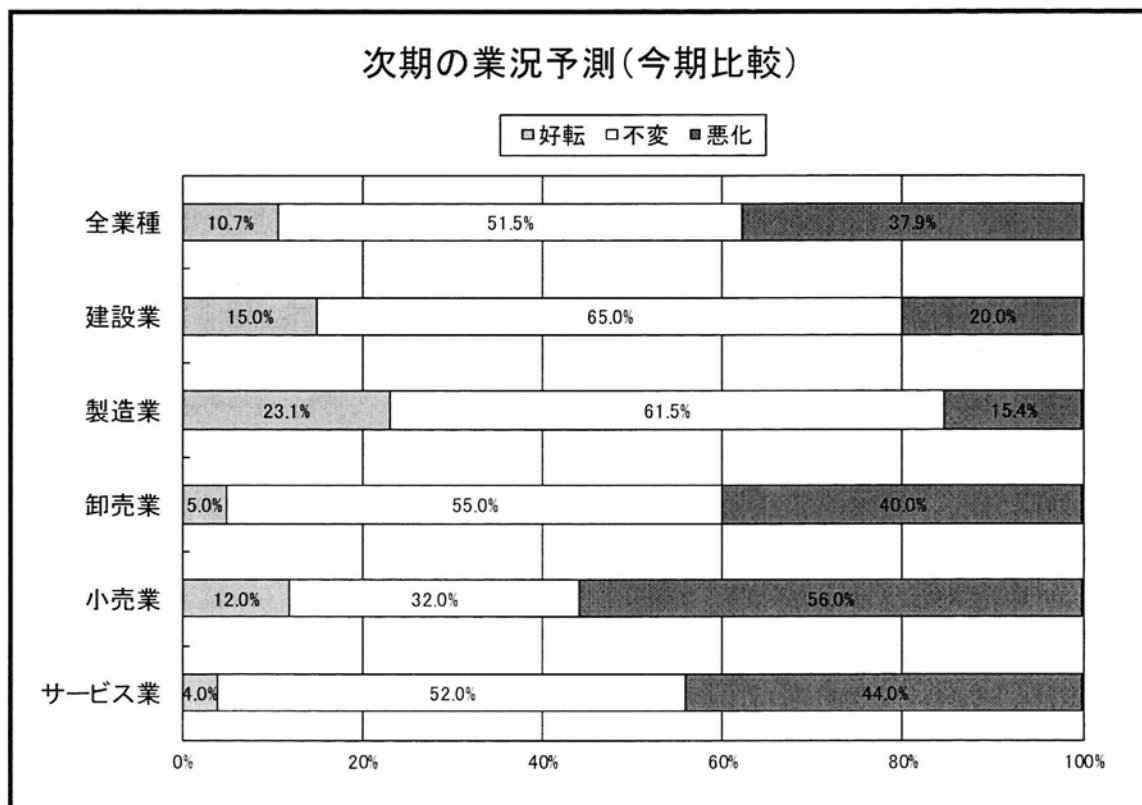
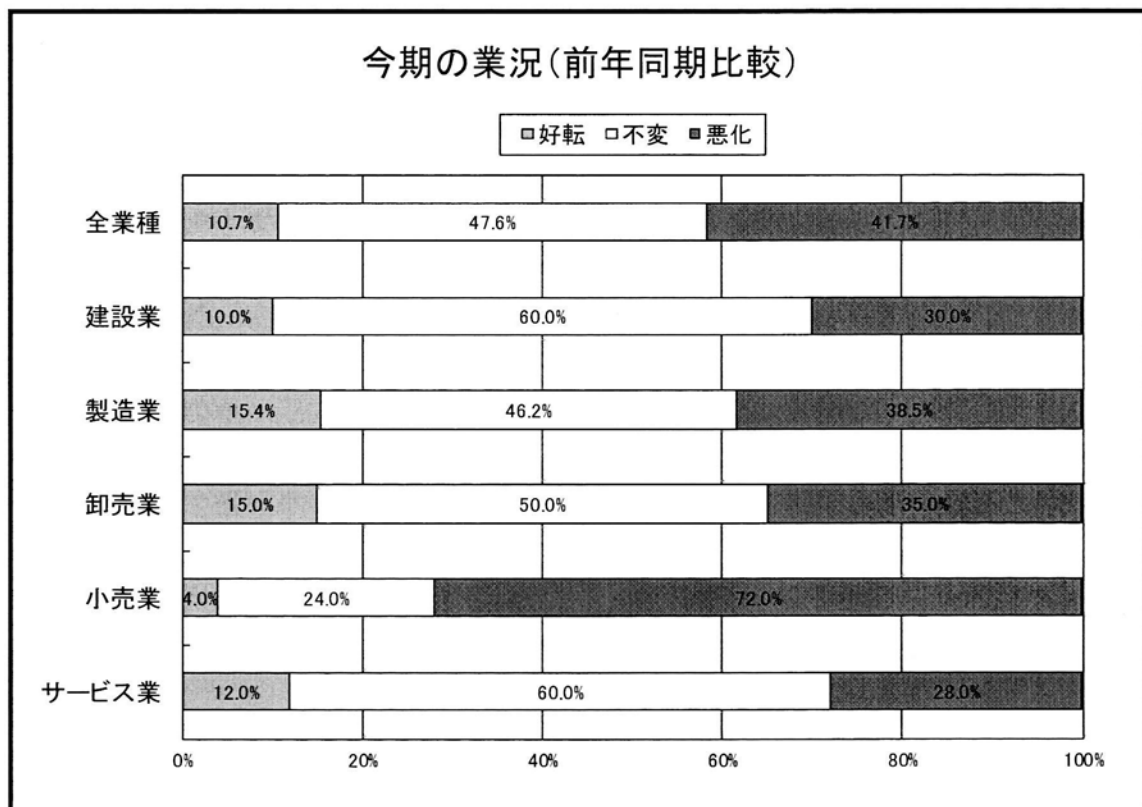
規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	30.0%	▲ 30.0	↘
非小規模企業	6.7%	26.7%	▲ 20.0	↘
全体	4.0%	28.0%	▲ 24.0	↘

■次期の見通し

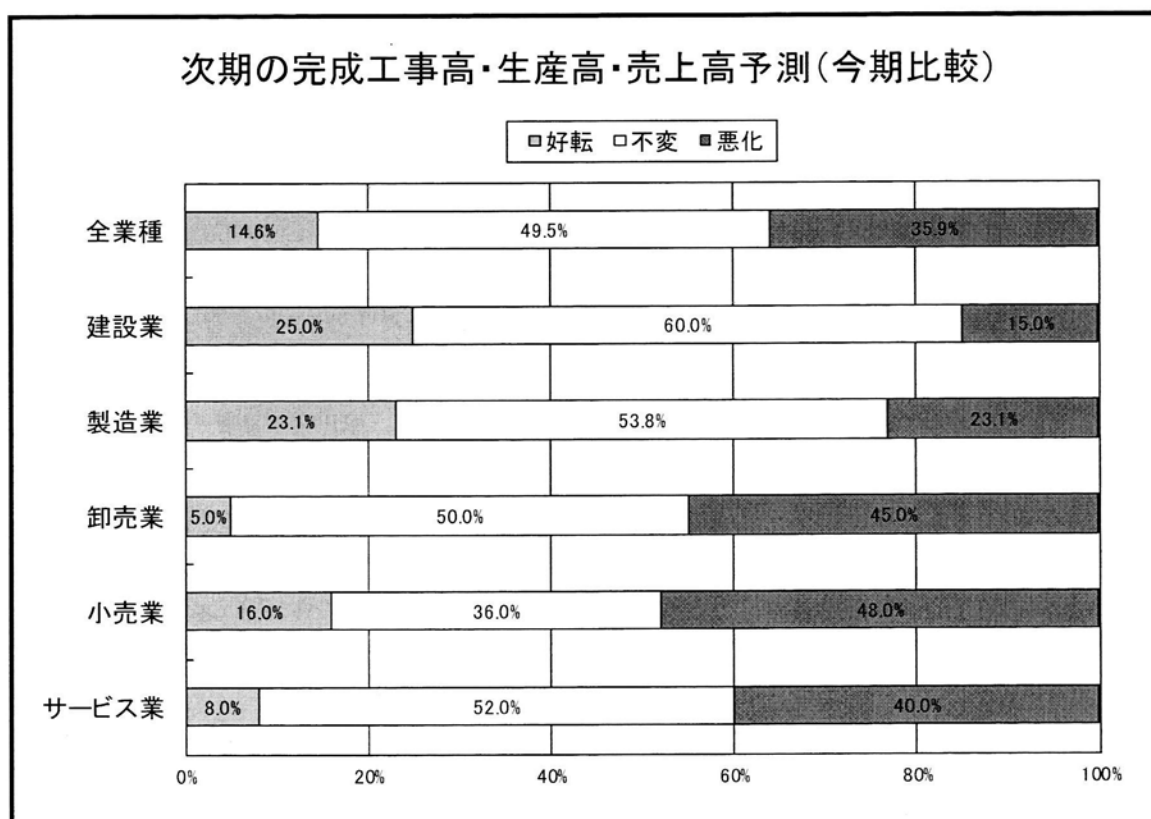
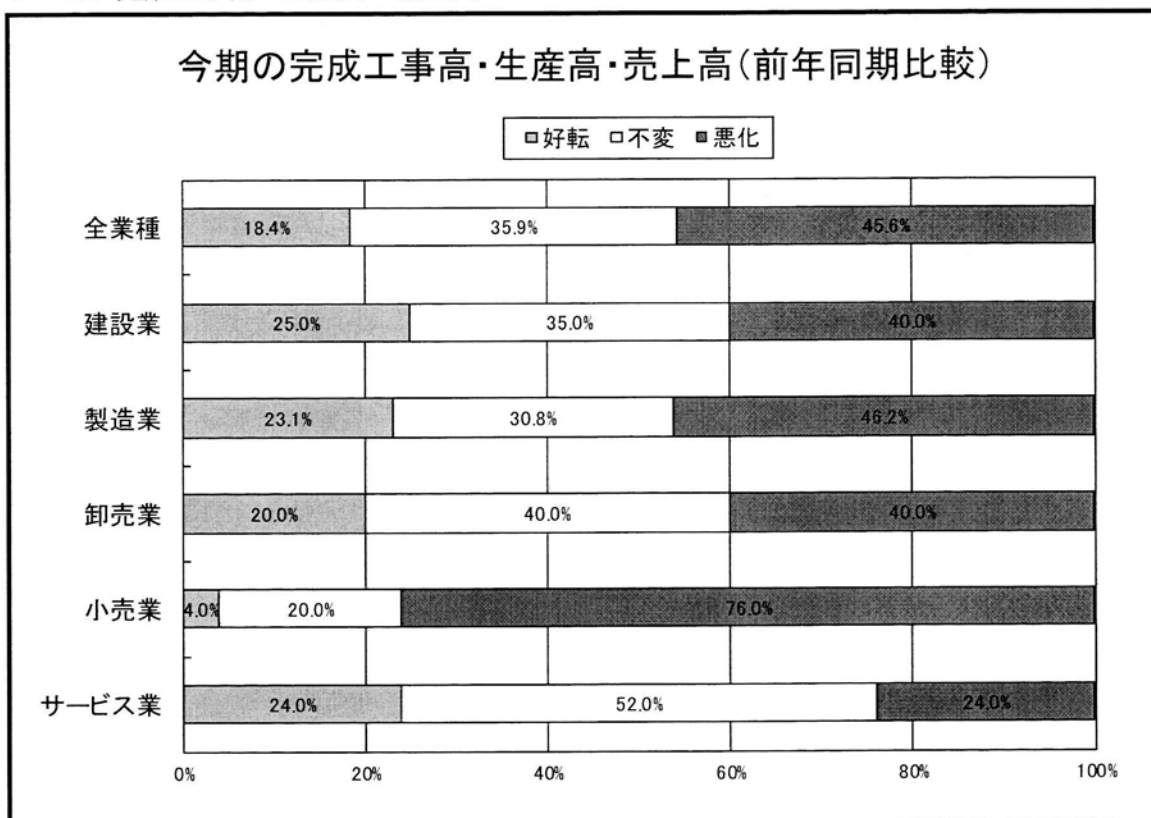
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	0.0%	20.0%	▲ 20.0	↘
	非小規模企業	6.7%	60.0%	▲ 53.3	↘
	全体	4.0%	44.0%	▲ 40.0	↘
売上高	小規模企業	10.0%	20.0%	▲ 10.0	↘
	非小規模企業	6.7%	53.3%	▲ 46.6	↘
	全体	8.0%	40.0%	▲ 32.0	↘
資金繰り	小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	非小規模企業	6.7%	33.3%	▲ 26.6	↘
	全体	4.0%	20.0%	▲ 16.0	↘

第3章 各判断項目回答割合

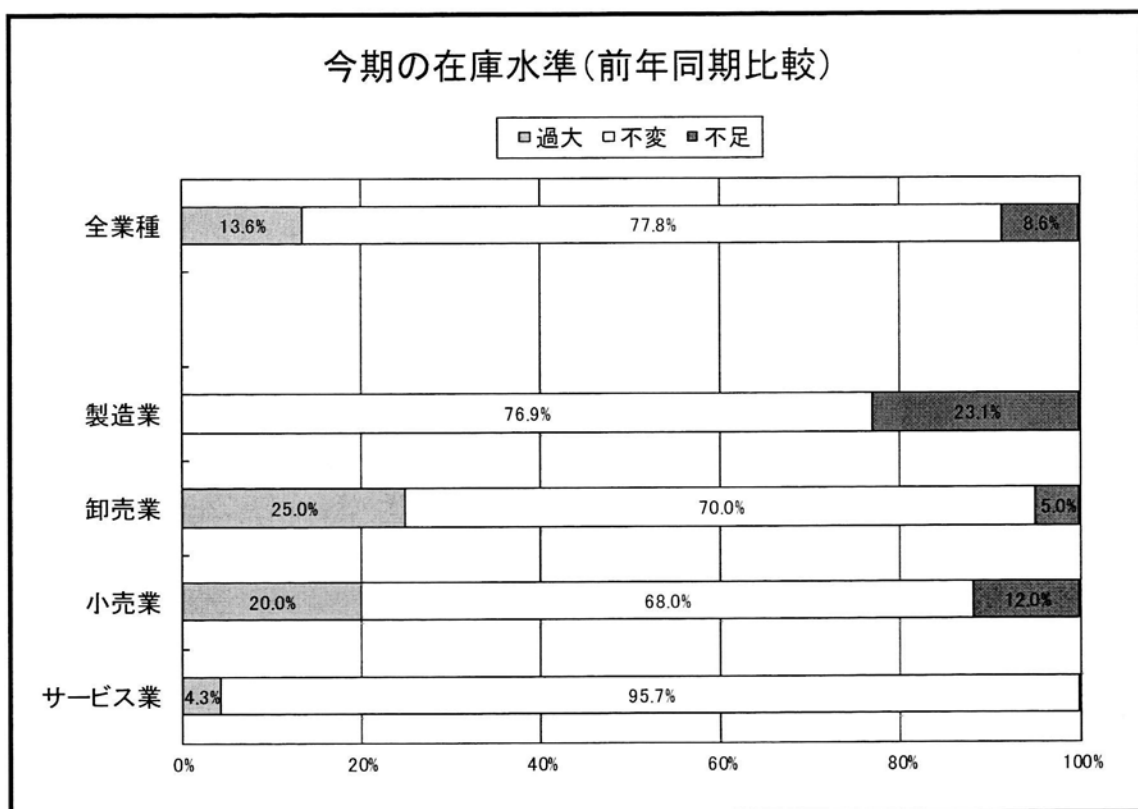
3-1. 業況



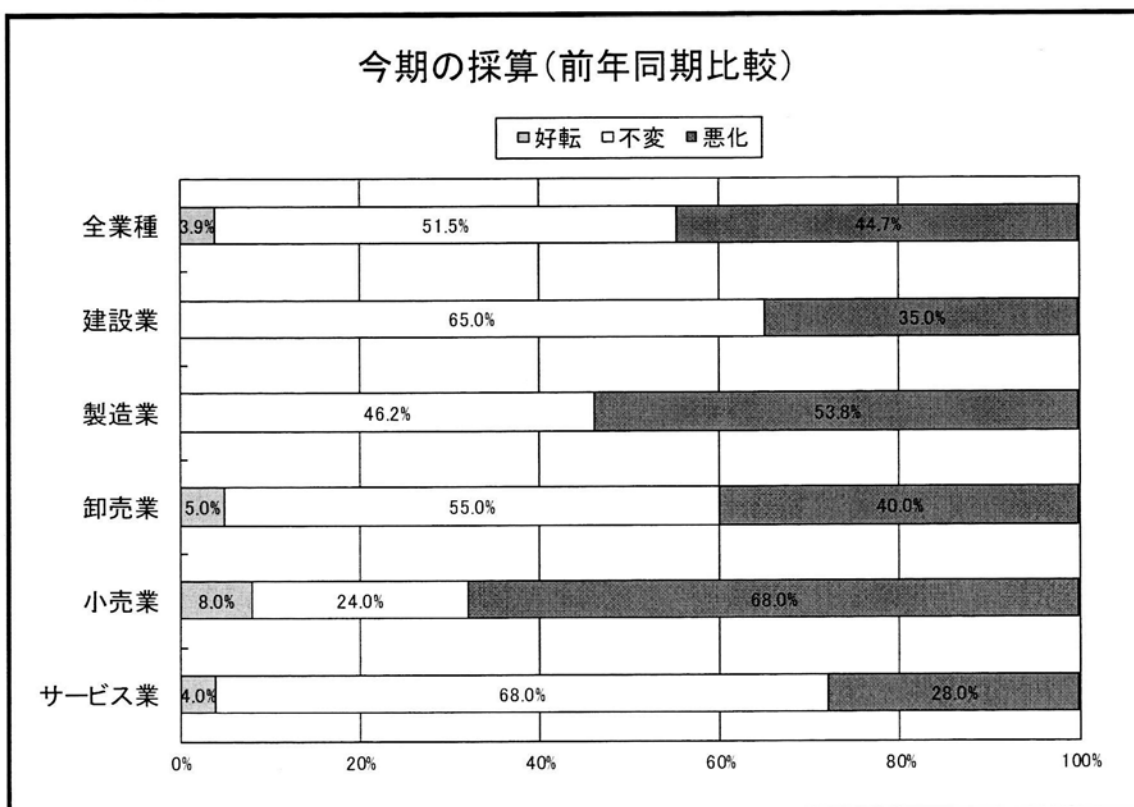
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



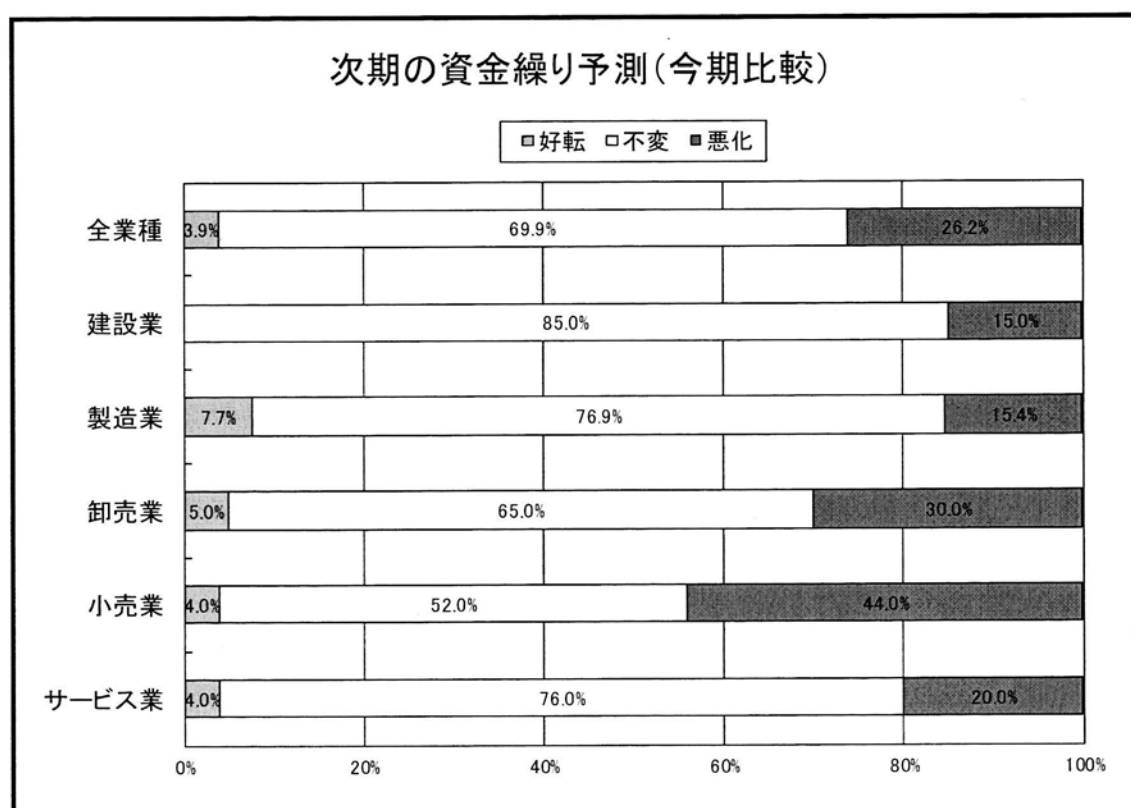
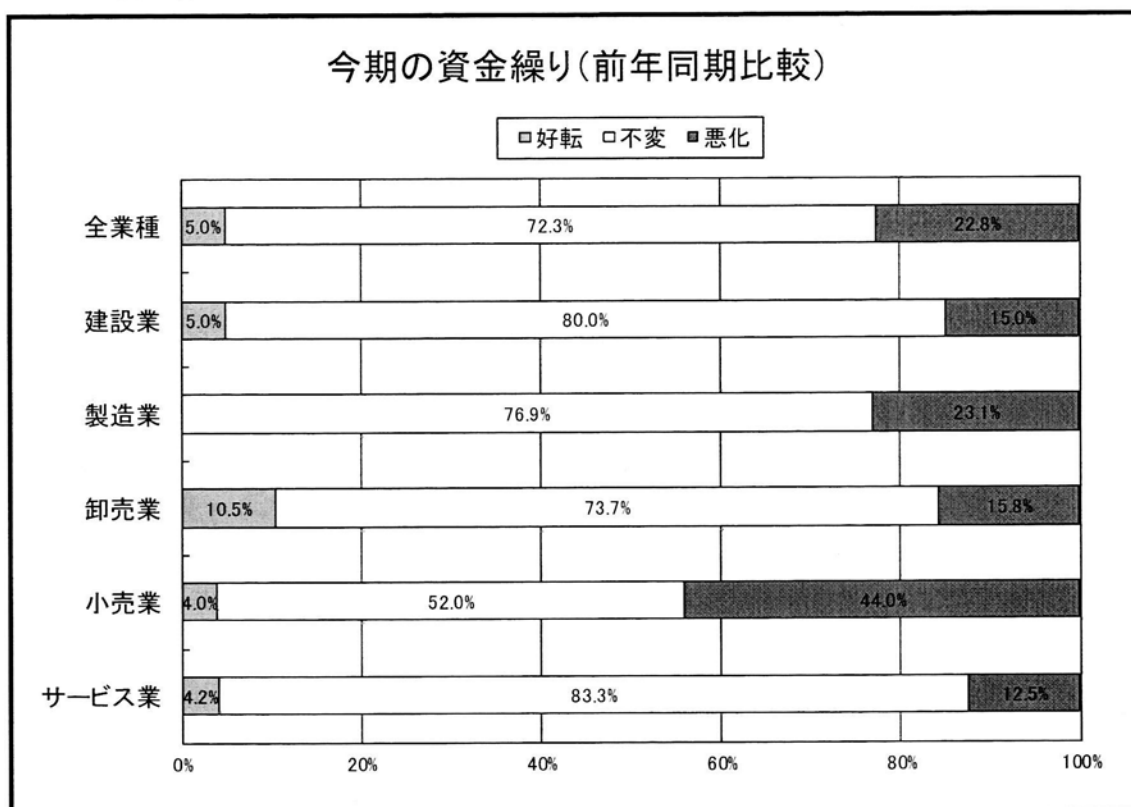
3-3. 在庫水準



3-4. 採算



3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

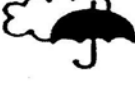
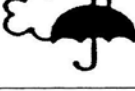
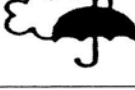
4-1. 記号説明

				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 (50 > D.I. ≥ 25)	まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)	不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)	きわめて不振 (▲25 > D.I.)

4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 ▲ 31.0	 ▲ 27.2
売 上	 ▲ 27.2	 ▲ 21.3
採 算	 ▲ 40.8	
資金繰り	 ▲ 17.8	 ▲ 22.3

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
建設業	業 況	 ▲ 20.0	 ▲ 5.0
	完成工事高	 ▲ 15.0	 10.0
	採 算	 ▲ 35.0	
	資金繰り	 ▲ 10.0	 ▲ 15.0
製造業	業 況	 ▲ 23.1	 7.7
	生 産 高	 ▲ 23.1	 0.0
	採 算	 ▲ 53.8	
	資金繰り	 ▲ 23.1	 ▲ 7.7
卸売業	業 況	 ▲ 20.0	 ▲ 35.0
	売 上	 ▲ 20.0	 ▲ 40.0
	採 算	 ▲ 35.0	
	資金繰り	 ▲ 5.3	 ▲ 25.0

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
小売業	業 況	 ▲ 68.0	 ▲ 44.0
	売 上	 ▲ 72.0	 ▲ 32.0
	採 算	 ▲ 60.0	
	資金繰り	 ▲ 40.0	 ▲ 40.0
サービス業	業 況	 ▲ 16.0	 ▲ 40.0
	売 上	 0.0	 ▲ 32.0
	採 算	 ▲ 24.0	
	資金繰り	 ▲ 8.3	 ▲ 16.0

第5章 産業別経営上の問題点

業種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	売上の不振	諸経費増	同業者間の競合	人件費増
製造業	諸経費増	売上の不振	人材不足 同業者間の競合		得意先減少
卸売業	諸経費増	売上の不振	同業者間の競合	得意先の減少	人材不足
小売業	諸経費増 得意先減少 売上の不振			同業者間の競合 人材不足	
サービス業	諸経費増	人材不足	人件費増	得意先の減少	売上の不振
合計	諸経費増	売上の不振	人材不足	同業者間の競合	得意先減少

第6章 設備投資の動向

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
した	5件 (25.0)	3件 (23.1)	4件 (20.0)	3件 (12.0)	4件 (16.0)	19件 (18.4)
しない	15件 (75.0)	10件 (76.9)	16件 (80.0)	22件 (88.0)	19件 (76.0)	82件 (79.6)
無回答	- -	- -	- -	- -	2件 (8.0)	2件 (1.9)
合計	20件	13件	20件	25件	25件	103件

※上記表のカッコ内はパーセンテージを示す。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
土地	1件	-	-	-	-	1件
店舗	-	-	-	1件	2件	3件
販売設備	-	1件	2件	1件	1件	5件
車輛	4件	-	3件	1件	2件	10件
付帯設備	-	-	3件	1件	1件	5件
OA機器	-	1件	1件	-	-	2件
福利厚生施設	-	-	-	-	-	-
その他	-	1件	-	1件	-	2件

※複数回答があるため、表1の合計件数と相違している。

※その他の記述は以下のとおり。

製造業：工場機械

小売業：LED 照明器具取替

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

- ・一部、協力業者の従業員不足、下請負金額の高騰（建設業）
- ・工事量の分散・・・工事量が集中する時期と少ない時期の差が激しい
冬期間の工事量の減少・・・昨年は一部通年雇用としたが、冬期間の仕事がなければ難しい。（建設業）
- ・トラックと運転手の不足により物流が非常に悪い。本州～道内、道内～道内共に輸送コストが高くなっている為、入荷が減少している。（卸売業）
- ・円安、輸入品仕入、北電値上げ（卸売業）
- ・ガソリン代の上昇により運賃が高くなると困る。利益が運賃代で圧迫されるのが困る！（卸売業）
- ・消費税増税の反動でしょうか？（卸売業）
- ・円安による食品の値上げ、電気料再値上げによる経費増（小売業）
- ・商店街への客足が明らかに遠のいている。個店イベント時のみの来店しかない。（小売業）
- ・消費税増税後、買い控えの傾向があると思う。円安により石油製品などの値上がりが仕入価格の上昇を招き、経営を圧迫してくると思う。（小売業）
- ・一番は人手不足です。大変な問題です。二番は、自動車燃料の高騰です。事業の縮小を考えています。（小売業）
- ・益々消費税（8%）の影響が出てきそう。更に光熱費の負担は重く、10%は当分無理。やるなら原発稼働後に！！ 海外客（インバウンド）の増加に期待大、中国客が増している。（サービス業）
- ・募集しても人材が集まらない。（サービス業）
- ・来期は同業が増えると聞いていますが、その分顧客の絶対数が増える見込みがあるか、単純に分散してしまうか不安。（サービス業）
- ・人材不足はかなり深刻で、暮秋の広告を出しても出しても働き手が見つからない状況です。大手フランチャイズでは閉店に追い込まれる店舗や、深夜営業ができなくなった店舗もあると聞きます。これからは、個人経営の店も危機感をもって人材確保をしなければならないと思う。（サービス業）